

だいごう 第43号 平成26年8月1日 発行 (偶数月発行/年6回)

【発行者】 中国・四国中国帰国者支援・交流センター

社会福祉法人 広島県社会福祉協議会
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp



広島県高齢者施設見学・交流会

5月26日(月)広島県の帰国者を対象に高齢者施設見学・交流会を開催しました。見学先の施設は家庭的な雰囲気、小規模ながら中国語が話せる職員もおり、到着の際には、「ニーハオ」と温かく迎えてくださいました。一人暮らしの帰国者は「将来、身の回りのことができなくなったら、ここで世話になろう」と話していました。参加者の中には、以前、センターに通所していて、体調不良で来られなくなった帰国者もあり、「普段は買い物だけでも疲れるのに、久しぶりに元気になったような気がした」と嬉しそうに話していました。懐かしい友人との再会や、久しぶりの外出が気分転換になったようです。



広島県東部健康増進交流会

5月27日(火)広島県東部の帰国者を対象に健康増進交流会を開催し、備北丘陵公園のグラウンドゴルフ場で汗を流しました。東広島市の参加者は全員初心者でしたが、「近所の高齢者が、大きな声で笑いながらプレイする姿を見て、何がそんなに面白いんだろうと思っていましたが、今日その気持ちがわかりました。またやりたいです!」と嬉しそうに話す帰国者1世がとて印象的でした。園内はちょうどポピー、パンジーなどの花が見ごろで、散策も楽しむことができ、充実した一日となりました。

岡山県異文化交流会

6月1日(日)岡山県の帰国者を対象に異文化交流会を開催しました。日中料理作りでは、グループごとに担当料理を決め、グループ内で相談しながら調理しました。日本での就労経験がある帰国者1世は日本語で会話のできたので、料理内容の他にも色々な話題で交流を楽しめたようです。その後の演芸披露では、帰国者1世一人と地域住民二人による二胡の合奏がありました。お互いの息がとて合っていて、耳に心地良く響き、歌を口ずさむ人もいたほどでした。



高知県社会見学会

6月14日(土)高知県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。初めに訪れた淡路島公園は回り切れないほどの広さでした。ちょうど「アジサイまつり」が開催中で、色鮮やかな紫陽花を見ることができました。その後、北淡震災記念公園で阪神・淡路大震災の記録映像を鑑賞したり、震度7の地震を疑似体験したりしました。参加者は「実際に地震が起こったら、パニックになると思う。今後、南海地震が発生したら、高知市も津波に襲われるかも知れないとニュースで聞いたことがある。備えておかなければ…」と話し、自然の脅威に圧倒され、防災意識を強めた様子でした。



中国・四国ブロック支援機関連絡会

7月4日(金)中国・四国ブロックの中国帰国者を担当する行政職員を対象に中国帰国者支援機関連絡会を開催しました。厚生労働省から支援策の現状と課題についての説明があり、その後、九州大学病院の看護師から帰国者1世に対して行った健康に関する実態調査の報告があり、医療通訳の重要性が再確認されました。その他、帰国者2世でもある当センターの職員から、中国と日本の生活習慣の違いに苦労する帰国者の事例をいくつか紹介しました。担当となって日の浅い参加者も多く、この会が帰国者の現状を理解する良い機会になったようです。それぞれの地域で、より充実した帰国者支援につなげていただきたいと思います。

愛媛県企業見学・交流会

7月12日(土)愛媛県の帰国者を対象に企業見学・交流会を開催しました。見学先のアサヒビール株式会社四国工場では、生産過程をDVDで学んだ後、工場内を回りながら、係員から親切で分かりやすい説明を受けました。参加者は、自分たちが住む四国地域に出荷されている商品ということで、興味深く見学していました。続いて、愛媛県総合科学博物館では、ちょうど、大トリックアート展が開催されており、目の錯覚によって立体的に見える絵などを利用した様々な遊びを体験し、大人から子供まで楽しんでる様子でした。



中四国地域の活動報告

山口県主催 中国残留邦人等支援に係る担当者会議

6月24日(火)山口県で中国残留邦人等支援に係る担当者会議が開催され、当センターの職員も出席しました。参加者の中には支援給付と生活保護を兼任している人もいて、「生活保護と同じように厳しい観点で扱ってしまいがちだが、今日、歴史的背景や体験談を聞いて、全く性質の違うものだとわかり、より丁寧な対応を心掛けようと思った」という感想がありました。また、センターからは、「帰国者が日本社会のことを理解するため、回覧板や地域清掃の事などは中国語版を作成してもらおうと誤解が生じることを少しでも防げるのではないかと提案し、「依頼していただければ、翻訳など出来る限りの協力をします」と呼びかけました。

8月の予定		9月の予定	
8月8日	相談説明会・健康増進交流会 [高知県]	8月4日・5日	ブロック支援者研修会 [中四国]
8月10日	異文化交流会 [広島県]	9月24日	企業見学・交流会 [広島県]
8月26日	高齢者施設見学・交流会 [広島県福山市]	9月27日	社会見学会 [鳥取県]

投稿募集

あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか?みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

うっとうしい梅雨が明け、夏本番ですね。突然ですが、私は帰国者のみなさんに「小龍女」というニックネームで呼ばれています。でも、残念ながら小説『神鵰剣俠』の中に出てくる美しいヒロインの小龍女ではなく、単なる雨女という意味です。各県で実施している交流会でよく雨を降らせて、帰国者のみなさんに迷惑をおかけしています。さあ、今からは私の本領発揮!台風が来ます。みなさん天気が悪くても温かく小龍女を迎えてください。(田中)



广岛县老人院观摩·交流会

5月26日(周一)以广岛县归国者为对象举办了老人院观摩·交流会。这家老人院虽然规模不大,但是气氛温馨,设施内还有会说中国语的工作人员,当大家到了老人院后,传来「你好」一声热情的问候。会后,一位独居生活的归国者说到「将来,如果自己不能照顾自己时,就来这里接受护理」。还有一些以前还定期来中心上课,可是由于身体状况渐渐不能来中心的归国者通过参加这次活动,「平时仅仅是购物就会感到疲倦,今天却感到特别的精神」来表达自己的喜悦。和久违不见的老朋友们再聚,以及难得的外出,相信会多少轻松了一下心情。



广岛县东部促进健康交流会



5月27日(周二)以广岛县东部归国者为对象举办了促进健康交流会,在备北丘陵公园的球场大赛一场。来自东广岛市的归国者都是初次接触迷你高尔夫球,会后一位归国者1代兴致冲冲说道「经常看到家附近的老年人们有说有笑的一起打球,真不知道有什么好玩儿的,今天打了打尝试了一次,才明白其中真正的乐趣。今后还希望有机会参加这样的活动」。园内虞美人、三色堇开的十分娇艳,令人赏心悦目,度过了充实的一天。

冈山县异文化交流会

6月1日(周日)以冈山县归国者为对象举办了异文化交流会。首先通过互教互学日中菜肴进行了交流。根据料理的种类参加者分为几个小组,相互商议后决定各自分工。特别是曾经在日本有过工作经验的归国者1代使用流畅的日语,不仅是烹饪还就各种话题与日本朋友进行了交流。之后,还进行了节目表演时间,归国者1代和两位日本朋友进行了二胡演奏,天衣无缝的合奏,听得人禁不住一起轻声吟唱。



高知县社会观摩会



6月14日(周六)以高知县归国者为对象举办了社会观摩会。初次到访的淡路岛公园让人感到十分宽阔。时值紫阳花节,色彩缤纷的紫阳花让人一饱眼福。之后,在北淡震灾纪念公园观看了阪神·淡路大地震的纪录片,还参加了震度7级的地震虚拟体验。会后有一位归国者谈到「如果发生地震的话,肯定会不知所措。从电视上得知,今后如果南海地震真的发生的话,海啸一定侵袭到高知市内来。多少的心理准备还是有必要的...」,通过观摩让人深感自然灾害的威胁,希望借此机会能增强大家的防灾意识。

中国·四国地区支援机关联系会

7月4日(周五)举办了以中国·四国地区中国归国者工作行政担当工作人员为对象的中国归国者支援机关联系会议。在厚生劳动省的职员介绍了支援政策的现状和课题后,请九州大学附属医院的看护师为讲师,进行了针对归国者1代所实施的健康保健调查的汇总报告。之后,由归国者2代的中心工作人员,向与会者介绍了由于中国和日本文化以及生活习惯的不同让归国者感到不适应的一些具体事例。这次来宾中不少人是初任归国者工作,希望能借此机会加深对归国者的现状以及所遇到的问题的理解,并进一步加强对所在地区的归国者支援工作。

爱媛县企业观摩·交流会

7月12日(周六)以爱媛县的归国者为对象举办了企业观摩·交流会。这次和大家参观学习的是朝日啤酒株式会社的四国工厂。首先观看了生产过程的影像,之后在亲切的工厂职员的引导下观览了工厂内部生产线。通过这次参观,得知出厂的商品就在自己所住的四国地区贩卖后,更增加了大家观摩的兴致。之后,来到了爱媛县综合科学博物馆,正好处于特殊效果艺术展开期间,大家饶有兴致的参加了各种体验,特别是利用视觉的错觉将平面的图案看成是立体效果,让大人小孩都参与的十分尽兴。



中四国地区活动汇报

~山口县主办 中国残留邦人等支援工作负责人会议~

6月24日(周二)中心的工作人员赶去参加了由山口县政府举办的中国残留邦人等支援工作负责人会议。与会者中有兼负支援给付金以及生活保护的职员,在听完中心工作人员的报告后,发出这样的感叹「不知不觉中容易以针对生活保护的严格视点来对待支援给付,今天听了归国者的历史背景和体验谈,让人领悟到了两者间完全不同的属性,今后会更为细心周到的对待这项工作」。此外,中心也借此机会提出了这样的建议「为了让归国者能更好的理解日本社会,比如说地区的传阅信息或清扫活动的通知等如果能附带中文的话,自然就会减少彼此间的误解」,「如果有需要的话,中心可以负责文件的翻译工作」。

8月·9月预定

8月8日	咨询说明会·促进健康交流会	〔高知县〕	9月4日·5日	地区支援者研修会	〔中四国〕
8月10日	异文化交流会	〔广岛县〕	9月24日	企业观摩·交流会	〔广岛县〕
8月26日	老人院观摩·交流会	〔广岛县福山市〕	9月27日	社会观摩会	〔鸟取县〕

征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此,向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿字数限400字以内,投稿可直接送到中心,邮寄、传真亦可。期盼大家积极踊跃的投稿!

编辑后记

送走了阴雨连绵的梅雨季节,迎来了炎热的夏日。不知从何时起,归国者们赠给我「小龙女」这个绰号。很遗憾的是,不是说我像金庸小说《神雕侠侣》中的那个绝世美女小龙女,意在我总能呼风唤雨。每当去各县举办交流活动时经常是风雨交加,为此感到十分的抱歉。台风季节又到,又是我大显身手的时候了。在此衷心期盼大家即使在风风雨雨中也能宽怀的接纳我这个小龙女! (田中)